

大学院看護学研究科		授業科目	小児専門看護実践論 Theory and Practice of Advanced Pediatric Nursing			担当 教員	二宮啓子（専任） 半田浩美（非常勤）	
開講年次	2年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義・ゼミ	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		健康問題の判別能力、系統的实践能力を向上させるための理論と研究方法について深めるとともに、小児の専門看護師のあり方について検討する。						
授業のキーワード		小児専門看護師、看護実践、倫理調整、コンサルテーション、コラボレーション、教育、研究						
講義回数	授業内容及び計画							
第1回 ～ 第14回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児専門看護師の役割について理解する。</li> <li>2. 小児における看護師を含むケア提供者への教育活動とコンサルテーション活動の方法と実際について学ぶ。</li> <li>3. 円滑なケアを行うために保健医療福祉に携わる人々とのコラボレーション活動の方法と実際について学ぶ。</li> <li>4. 小児看護における倫理的な問題や葛藤の解決・調整の方法について学ぶ。</li> <li>5. 小児病棟・外来において看護師に対するケアを向上させるための教育活動の方法と実際について学ぶ。</li> <li>6. 実践の場における研究方法について学ぶとともに、研究における倫理的課題について理解する。</li> <li>7. 事例を用いて、関心領域における健康アセスメントを行うとともに、小児と家族によりよい援助を提供するための組織的な取り組みについて検討する。</li> </ol>							
テキスト	なし							
参考文献	別に提示する							
成績評価の方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生が看護実践能力を向上させるための理論について発表し、討議する。</li> <li>2. 各自が経験している事例を用いて、小児専門看護師としてどのような援助ができるかについて、発表し、レポートにまとめて提出する。</li> <li>3. 授業中の参加状況（討議・発表）60%、及びレポート40%により評価する。</li> </ol>							
教員から学生へのメッセージ	この授業は、これまでの講義や演習で学んだ小児看護に関する理論や知識、実践での学びを活用し、よりよい小児看護実践をめざして、小児看護専門看護師として、どのように考え、どのように行動すればよいかについて学びます。							